

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・気温の上昇で、夏物処分等に多少の動きが出てきている。また、海外旅行の減少等により生活支出が良くなり、やや回復する。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・店頭売上は8月も前年の実績をクリアしている。不調であった外商売上も前年を上回る数字を確保できたので、やや良くなっている。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・8月は、新規加入数の大幅な伸びはみられないものの、月間目標には達成する。第三世代携帯電話の売行きも上向いている。
		設計事務所（所長）	それ以外	・受注量が増加し、いくつか企画物件も出始め、忙しくなってきた。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・冷夏で、期待していた水着や登山用品関係がほとんど売れていない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・気候の変化が大きく、夏休みも人の動きが少ない。一方で、格安品のあるリサイクルセンターなどにはぎやかである。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・冷夏と長雨のため、青果物部門の売上が3か月前より7%落ちている。全体的には変わらない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・低温と雨の影響で行楽客の足が鈍く、売上に大きく響いている。セール、好天の日で前年並み、低温の日は前年を2割近く割っている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・各種の経済指数に若干好転の兆しもみられるが、天候不順の影響が大きいせいか、セールなどの企画に活気がみられない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・1年前までの販売量では、勝ち組と負け組がはっきりしていたが、最近は勝ち組がなく、一部機種のみになっている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・販売量は、宣伝をするかしないかで増減する。中古車は、宣伝をすれば安定して売れるという状況である。
		その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	販売量の動き	・8月に新機種が発売されたが、あまり数字も伸びておらず、景気が良くなるにはほど遠い。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・冷夏の影響もあり、夏休み中の来客数が減少している。9月以降の予約は、今のところ前年並みである。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊は横ばい、集宴会は前年の5%マイナスで、レストランも低迷中である。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比較して、SARSの影響も大分収まっている。海外旅行はまだ減少しているが、国内旅行は例年どおりになっているので、来客数は変わらない。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・夏休みの予約もほぼ終わり、秋の行楽シーズンに向けてセールスを始めているが、国内旅行の団体予約が伸び悩んでいる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・お盆の2日間は通常の倍の仕事量があったが、月末は反動で悪くなっている。
		タクシー運転手	競争相手の様子	・価格競争が進み、同じ地区の各社が最低限度の認可運賃で営業してきたが、どこも経営に行き詰まったのか、今月中旬までに全ての会社が元の運賃に戻している。
		観光名所（職員）	お客様の様子	・冷夏、雨の日が多かったことから、全般的に人出が少なく、ホテル、旅館、レストラン関係は例年と比べ、かなり落ち込んでいる。
		ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・台風とお盆の大雨で、キャンセルが続出している。ゴルファー意識が以前と変わり、天気予報だけでキャンセルをするようになってきているので、自然相手で低料金のゴルフ場運営は厳しい。固定費の圧縮を軸とした、更なるコスト削減を行わなければならない。
		競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、購入単価とも上昇する見込みがない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・集金に行っても、回収率が悪く、厳しい。

	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・同業で仕事が確保できないという声が多く、仕事があっても小規模である。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・天気が悪いので、夏物関係、特に浴衣、浴衣関連の小物商品が悪くなっている。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・天候不順で低温の日々が続き、夏物衣料の売上が非常に悪くなっている。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・食料品はそれほど落ちていないが、気候のせいもあって衣料品関係の販売量が非常に悪い。特に今年は、夏物の動きが悪い。
	スーパー（統括）	来客数の動き	・単価は上昇に転じたが、買上点数は7月ほど伸びず、前年同月比104%となっている。レジ通過客数に関しても、長梅雨、冷夏により、3か月前と比べて鈍化し、前年同月比104%である。 ・社会保険料の増額によるボーナス支給額の大幅な減少が影響し、中元ギフトは前年比101%にとどまり、素麺類は85%となっている。単価も低く、持ち帰りギフトの割合が増加している。
	スーパー（経営企画担当）	来客数の動き	・異常気象の影響で、特に前半がひどく、青果物、飲料、ビール、お盆のギフトがなかなか売れない。来客数、販売点数とも落ち込んでいる。
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・冷夏のため、お盆の落ち込みが大きい。夏のアイテムの動きが足を引っ張り、来客数が前年比104.6%と増加したものの、客単価は92.6%という結果である。
	コンビニ（店長）	お客様の様子	・一番の要因は冷夏である。夏休みの祭や花火大会で、昼は冷たいもの、夜は温かいもの、雨降りには傘やかっぱが売れ、8月にしては盛りだくさんの1か月である。そのため、前年並みの売上を確保することができている。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・お盆休み前には、駆け込み的な車の購入、車検依頼が多かったが、休み明けの商談は減少している。車検間近の客に車の購入を勧めても、継続車検を受けることが非常に多い。
	高級レストラン（店長）	来客数の動き	・月の前半からお盆休みの中ごろまで続いた天候不良により、県外からの観光客が例年と比べて20%近く減少している。
	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・1年中で最も期待する時期であるが、冷夏の影響で夏のメニューへの盛り上がりがなく、例年並みの来客数がある割には売上が伸びていない。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊単価は若干上昇しているが、付帯する消費単価が下がっており、来客数がかなり減少しているので、やや悪くなっている。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・冷夏により、レストランの来客数も少なく、生ビールフェアや飲み放題の利用は激減している。お盆中の宿泊も動きがなく、庶民の家計の苦しさがうかがえる。
		タクシー運転手	お客様の様子
	遊園地（職員）	来客数の動き	・お盆の悪天候で来客数が伸び悩んでおり、低温のため、自販機収入が前年の7割となっている。
	設計事務所（所長）	単価の動き	・2、3か月前と比べ、客数は変わらないが、小さい物件が多く、単価は安い。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・米の産地なので、農家の不作に客は不安を抱いている。冷夏により、8月の購買意欲は低下している。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・冷夏で夏物商品が売れず、ドリンク類が前年の70%、そばや冷やし中華などの調理麺は前年の半分しか売れていない。
	コンビニ（店長）	それ以外	・7～8月の日照時間は平年の37%と気象庁の観測が始まって以来最も少なく、雨が毎日続き、気温が低いので、来客数が減少している。
	コンビニ（店長）	単価の動き	・涼しい夏のせいも、特にお盆のビール、ドリンク等の売上が悪く、やや良かったおでん等の売上では、客単価低下をカバーできない。
	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・冷夏に加え、6キロ先に先月ショッピングセンターがオープンし、1キロ先のデパートでは現在閉店セール中である。夏休みで来街者の低年齢化もあり、最悪の夏となっている。

		スナック（経営者）	来客数の動き	・お盆明けから、人通りが激減している。フリー客の入らない日も何日もあり、かなり悪くなっている。宴会の状況はあまり変わっていないので、普通に飲みに出る人が減少しているということである。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（製造担当）	競争相手の様子	・暑さが戻り、新たな発注も入っており、生産量、売上が確実に増加している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・この1～2年で機械関係の同業者が廃業した分、仕事が回ってきて忙しい。本当に景気が良くなったわけではない。
	変わらない	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・取引先の中で設備の増強、改築の話がいくつか出てきている。実際に工事にかかる段階にはないようであるが、前向きな話である。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・相変わらずQCD（品質、コスト、納期）は厳しいが、若干動きが出てきている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・8月は休みが多いので、3か月前よりは受注が15～20%減少しているが、前年比では5%増加しており、総じて変わらない。
		その他製造業【宝石・貴金属】（経営者）	取引先の様子	・8月20～21日に開催した展示会は、株価が上昇していることから期待をしていたが、来場者数は前年を下回っており、本格的な回復にはまだ時間がかかる。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・長雨、冷夏の影響で、富士山の登山者は富士吉田側で例年より2万人減少し、富士五湖の観光地では売店などの客数、売上が例年の半分程度となっている。周辺を取り巻く厳しい状況は変わらない。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・求人広告の掲載量、販売促進向け情報誌ともに横ばいである。広告予算の減少により、取引がなくなるクライアントもいるが、会社の営業努力で新規契約を獲得し、カバーできている。若干持ち直しの兆しが出てきたが、大きな飛躍はないので変わらない。
		新聞販売店【広告】（総務担当）	受注量や販売量の動き	・8月のチラシ出稿量は、前年比102.8%である。4月以降は前年並みで推移しており、底打ち感がある。新聞広告は依然として厳しく、前年割れが続いている。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月は例年、夏休みで受注が減少するが、今年は極端に落ちている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・電化製品、飲料水等の夏場の商品輸送受注が、前年より減少している。
		その他サービス業【放送】（営業担当）	受注量や販売量の動き	・4～8月の売上高が前年同期比で3%程度減少の見込みである。全体的に落ち込んでいるが、特に商業、通信業が厳しい。
悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注、採算とも、更に悪化している。	
	建設業（総務担当）	取引先の様子	・営業を行っていた民間工事から、最近になって自社の管理部門で実施するとの連絡を受けた。外部支出を避けたいようである。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・この3か月は、大きい仕事ではないが需要があり、求人数が増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・7月の新規求人は、前年同月と比べ31.7%増加し、有効求人も34.5%増加している。依然として派遣、請負が多いものの、一般の求人も確実に増加している。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・派遣需要は安定し、若干増加傾向にあるものの、特殊な資格所持者やソフト関連の専門職、中高年、女性の単純作業などの依頼が多く、単純な入力作業や一般事務が全くないので、契約が成立しないケースが多い。不況のためか、派遣スタッフはほとんど辞めず、安定している。全体としては前年より活発であるが、売上の伸びは期待薄である。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・秋に開店する予定のショッピングモールで予定されている1,500名のうち、500名分の求人広告を35万部発行し、現在1,000名程度の応募が来ている。残りの1,000名の募集は9月7日ごろに行われる予定である。

	求人情報誌製作会社（経営者）	求職者数の動き	・当地区の有効求人倍率は0.67倍と低い。特に建設業、製造業で求人が減少している。サービス業は派遣などにより、多少増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加したものの、正社員の求人は低調で、4割弱がパートや請負、短期契約のアルバイトである。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業を中心に持ち直してきているが、求人は依然として低調で、中高年、新卒に厳しい。経験者の求人もほとんどが35歳程度までであり、厳しい就職戦線は変わっていない。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・毎年広告を出していたスポンサーから断られることが多くなっている。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・8月に2回開催された来春卒業予定者対象の合同就職面接会の参加企業は、前年の70%、求人数は60%程度である。求人内容も、専門的な知識を必要とする情報、機械、介護職が大半で、学生が希望する事務、販売職は25%である。
悪くなっている	-	-	-